

2024年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、11月9日（木）に開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問を、事業別にまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

【M & A 仲介事業】

Q. 足元の案件数を教えてほしい。

A. 当社のM & A 仲介事業の公式ホームページ (<https://btix-ma.com/>) で公開しているとおり、現在の案件数は380件程度あり、昨年の同時期の220～230件からおよそ1.7倍まで伸長いたしました。これまでの経験上、案件数の約1/3が当事業年度中に成約すると想定しているため、期首想定成約組数200組については、達成可能であると認識しております。

Q. コンサルタントの人員数を確保するために、どのようなチャネル・ルートで採用活動を実施しているのか教えてほしい。

A. 主に紹介会社を通じて、新卒採用・中途採用の両面から採用活動を実施しております。

Q. 案件ソーシングに注力したと記載しているが、案件ソーシング自体は以前からも実施していたように思える。期首の業績予想策定時点では注力する旨を開示していなかったと思うが、なぜ上半期は注力する方向にシフトしたのか、期首想定から市場環境の変化があるなら教えてほしい。

A. 期首及び翌事業年度の業績目標に掲げている成約組数・売上高の達成には、案件ソーシングが重要であると考えたため、上半期は案件ソーシングに注力いたしました。期首想定していた市場環境からの変化はございません。

Q. 前事業年度までは平均手数料が増加傾向にあり、当事業年度においては案件成約に遅れが生じている。これは案件の大型化によるものか？

A. 案件の成約に遅れが生じているのは、上半期、案件ソーシングに注力したためです。一方で、これにより十分な案件数が確保できたため、下半期からは案件の成約に注力してまいります。なお、平均手数料の増加につきましては、大型案件にシフトした結果ではなく、当社のこれまでの実績に伴い業界内での認知度が高まったことで、流入する案件規模の幅が広がったことによるものです。

【全社】

Q. 臨時株主総会を開催し、資本金をその他資本剰余金に振り替える減資を決議予定とのことだが、具体的にどんなメリットがあるのか教えてほしい。

A. 資本政策の柔軟性及び機動性を確保できるほか、税制面のメリットも大きいからです。なお、税制改正に伴い税制面でのメリットが消失する可能性についても把握しておりますが、改正の詳細が明らかになりましたら、今後の方針については、改めて考えていきたいと思っております。

以上